

SESSION 東北セミナーのご案内

テーマ：臨床での脳画像情報の活用

講師：阿部 浩明先生（一般財団法人広南会 広南病院）

内容：脳卒中は脳の疾患であり、脳の状態を的確に評価することが重要で、そのツールとして脳画像評価は非常に有用です。療法士が日常的に行っている評価と、脳画像を基にした脳の評価を組み合わせることで、障害の現在と予後を予測することができ、治療プログラムの立案にもとても役立ちます。この度、広南病院の阿部浩明先生をお招きし、「臨床での脳画像情報の活用」セミナーを開催致します。講師の阿部先生は、臨床はもちろん研究にも盛んに取り組んでおられ、全国の研修会講師活動においてもご活躍されています。

今回のセミナーは1日のみの単発セミナーとは異なり、脳画像評価とその臨床活用がマスターできるようになるための研修会であり、初級編、中級編、応用編の3部構成の研修会企画です。初級編では、なぜ画像情報を活用することで評価と治療プログラムの精度が上がるのか？について解説し、画像情報を活用する上で基本的な脳解剖を整理します。中級編では基本的な各葉の機能とその連絡を神経線維から理解し、その神経線維が臨床でよく眼にする脳画像上でどの領域をどの方向に走行するのかを解説します。応用編では、脳血管の走行と栄養している領域を把握します。次いで、CT、MRI といった各種画像の特徴や脳卒中病変のみえかた、その病変の時間経過に伴う変化について解説します。そして、これまでの総括として、習得した知識を基に、損傷部位からどのような症状が出現するのか、それを自身で考察するトレーニングを行います。3回の研修会を通じてしっかりと理解を深め、脳画像情報から自ら臨床推論できるようになることを目標とします。

つきましては何かと多忙な時期ではございますが、万障繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：平成 30 年 2 月 25 日(日) 10:00～16:00 3 月 18 日(日) 10:00～16:00
4 月 15 日(日) 10:00～16:00

場所：PARM-CITY131 貸会議室（宮城県仙台市青葉区一番町3丁目 1-16）
1日目(2月)→5A 会議室 2・3日目(3月・4月)→4G 会議室

受講費：通常→35,640円（税込み）

早割→29,160円（税込み）[2018年1月25日までにお申し込みの方]

※3日間全てご出席できる方のみお願い致します。

申し込み方法：下記ホームページかQRコードから申し込みください。

[https://session-therapist.jimdo.com/touhoku-2018-225-](https://session-therapist.jimdo.com/touhoku-2018-225-318-415/)

[318-415/](https://session-therapist.jimdo.com/touhoku-2018-225-318-415/)



阿部 浩明 先生 プロフィール

【所属】

一般財団法人広南会広南病院

【役職】

リハビリテーション科総括主任

【最終学歴】

東北大学大学院医学系研究科医科学専攻卒（医学博士）

【職歴】

平成 9 年：KKR 宮城野分院

平成 15 年：東北文化学園大学医療福祉学部

平成 17 年：広南病院（現在に至る）

【資格】

神経系専門理学療法士

認定理学療法士（脳卒中）

三学会合同呼吸療法認定士

など

【教育歴】

東北大学大学院肢体不自由学分野 非常勤講師

仙台保健福祉専門学校 非常勤講師

東北保健医療専門学校 非常勤講師

郡山健康科学専門学校 非常勤講師

など

【主な著書】

高次脳機能障害に対する理学療法 文光堂 編集

脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション Medical View 編集

極める脳卒中リハビリテーション必須スキル 株式会社 gene 分担執筆

運動療法学 第 2 版 分光堂 分担執筆

標準理学療法学 神経理学療法学 医学書院 編集協力・分担執筆

脳卒中理学療法の理論と技術 Medical View 分担執筆

など

【賞罰】

平成 20 年 第 43 回日本理学療法学会大会 大会長賞

平成 21 年 第 18 回日本意識障害学会 会長賞

平成 24 年 第 33 回東北脳血管障害研究会 医学奨励賞（中村隆賞）

平成 25 年 第 48 回日本理学療法学会大会 最優秀賞

【その他の活動】

日本神経理学療法学会運営幹事

雑誌 理学療法学編集委員

雑誌 Physical Therapy Research Editorial board member

雑誌 脳科学とリハビリテーション編集協力委員

雑誌 理学療法の歩み査読委員

雑誌 International Journal of Physical Medicine and Rehabilitation Review board member

など